

研究集会などの記録（2011年1月－12月）

- 2月26日 於龍谷大学大宮学舎 『雲居寺貞石録』所収至元31年立石直訳体聖旨碑の検討
- 3月26日 於龍谷大学大宮学舎 『雲居寺貞石録』所収至元31年立石直訳体聖旨碑の検討（続き）、「石経山大雲居禅寺藏経記碑」（北京元代史蹟図志、雲居寺貞石録）の検討
- 4月16日 於龍谷大学大宮学舎 山本明志「無錫所見の元朝墓誌について」
- 5月28日 於龍谷大学大宮学舎 「石経山大雲居禅寺藏経記碑」の検討（続き）
- 6月25日 於龍谷大学大宮学舎 「大元故處士錢公壙誌」の検討
- 7月23日 於龍谷大学大宮学舎 「大都大延洪寺栗園碑」（故宫博物院院刊2011年1期）の検討
- 9月24日 於龍谷大学大宮学舎 「大元贈敦武校尉軍民万戸府百夫長唐兀公碑」（濮陽碑刻墓誌所収）の検討
- 10月29日 於龍谷大学大宮学舎 「大元贈敦武校尉軍民万戸府百夫長唐兀公碑」からの系図復元の検討
- 11月26日 於龍谷大学大宮学舎 「古道觀記」（文物2011年8号）の検討
※ 科学研究費採択のため、この回からは科研の研究集会としておこなう
- 12月24日 於龍谷大学大宮学舎 王錦萍 「敬佛与敬祖 金元時期華北基層社会中佛教与家族制度的結合」

編集後記

16号をお送りします。編集担当がもたもたしております間に、村岡倫さんを研究代表者とする科学研究費「河南・山西地区の多民族融合社会史の研究 ―石刻史料による中国地域社会史解明の試み」が、科学研究費に追加採択されたとの知らせがまいりました。関係各位にお礼申し上げます。

その結果、この科学研究費の研究グループの NEWS LETTER として、本誌は刊行を継続することとなりました。今後とも、ご協力のほどお願い申し上げます。さて、本号にご執筆いただいた、谷口綾さんは龍谷大学の博士後期課程在籍の大学院生ですが、我々が開催している石刻関係の研究会に近年ずっと参加していただいている方です。また、2010年12月の九州大学におけるシンポジウムは、前科研のものです。ご参考になるかと思ひ、要旨を今号に掲載いたしました。

科研の研究代表は村岡さんですが、編集は森田憲司がおこなっておりますので、本誌についてのご連絡は森田までお願いいたします。

(もりた けんじ)

13、14 世紀東アジア史料通信 第 16 号

2012 年 1 月発行

編集 森田憲司

発行者

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究B

「河南・山西地区の多民族融合社会史の研究 ―石刻史料による中国地域社会史解明の試み」研究グループ
(代表 村岡倫)

連絡先

〒631-8502 奈良市山陵町 1500

奈良大学文学部史学科 森田研究室